



平成 30 年度事業

考えよう、今、自分たちに できることを・・・

はあと *de* ボランティア

～中高生のための夏休みボランティア体験～

『みんなのことば』

目次

1. はじめに	2
2. 実施報告	
2-1 事業の流れ	4
2-2 実績	5
2-3 【STEP 1】オリエンテーション	6
2-4 【STEP 2】ボランティア体験	10
2-5 【STEP 3】振り返り・修了証授与	14
2-6 参加者のことば	18
2-7 受入れ先のことば	20
2-8 みんなの笑顔	22
3. おわりに	24

主催 つづきMYプラザ（都筑多文化・青少年交流プラザ） 都筑区社会福祉協議会 都筑区青少年指導員連絡協議会

共催 都筑区役所 **後援** 横浜市教育委員会

協力 都筑警察署 都筑防犯協会 都筑消防署 株式会社スリーハイ 第一フォーム株式会社 地域の皆さん
都筑地区センター 中川西地区センター 仲町台地区センター 北山田地区センター 横浜国際プール



表紙イラスト

横浜市立荏田南中学校 3年 鈴木 寿子

1.はじめに

平成20年に始まった「はあと de ボランティア～中高生のための夏休みボランティア体験～」は、試行錯誤を繰り返しながら11年目を迎えました。その間参加する子どもたちも、「友だちといっしょに参加するボランティア」から「自分の意思を持って一人で参加するボランティア」へと変化してきました。参加の理由は様々です。進学や宿題のためという子たちもいますが、なかにはボランティア活動への純粋な興味関心を理由にあげる子たちもたくさんいます。いずれにせよ、体験してみなければわからないこと、体験したからこそわかることがあり、だからこそ「オリエンテーション」「活動」「振り返り」の3ステップを大切にしています。

もう一つの変化は、関わる大人たちに気づきが生まれたことです。それは中高生と一緒に活動することは、楽しく、新鮮で、豊かだということです。また違った側面から言えば、特性を持つ子どもたちの参加が増えたことも、大きな気づきの一つでした。活動の継続には、大人が連携することも必要だと知りました。

地域には様々な人がいて、様々な活動があり、多様性を受け入れて関わることで共生社会は生まれるという観点を持つことが大切であると感じています。

つづきMYプラザ 館長 **林田 育美**

はあと de ボランティアに参加することで、地域に住んでいるたくさんの方と出会い、触れ合うことができたのではないかと思います。オリエンテーションでは、みなさんの「人のために何かができるか考え行動したい、何か手伝いたい」という純粋な気持ちをたくさん伺うことができました。その思いが、受入れ先の方々にも伝わり、地域の中に笑顔とつながりが広がっているように感じます。

今回は、夏休みのボランティア体験として参加したボランティア活動だと思いますが、今回の体験だけに留まらず、普段から積極的に多くの方と関わり、様々な活動に参加してほしいと思います。高校生はもちろん、中学生のみなさんの力はとても大きく、地域の中で期待されています。ぜひ、今回の体験をきっかけに築いた多くの関係を大切にしてください。そして、これからも、たくさんの方と出会い、多くのつながりを築いてみてください。いつか、地域の方との出会いやつながりが、みなさんにとって、とても大切なものだと感じる時が来るはずですよ。

みなさんにとって、この夏休みの体験が、同じ地域で生活している様々な立場の方のことを思うきっかけになり、これからも地域の中でたくさんの方々を支え合いながら成長してもらえたら嬉しいです。

都筑区社会福祉協議会 会長 **村田 輝雄**

夏休み中の中高生を対象にした「はあと de ボランティア」への参加者が年々増えてきていることを青少年指導員としても、頼もしく思っています。また、初めて参加した中高生が、ボランティアを体験した後に行う「振り返り」で、参加した皆さんと楽しそうに話し合っている姿を見て体験の大切さを実感しています。

「はあと de ボランティア」も現在は小学生（高学年）も対象となりましたが、純粋に取り組む姿に、私たちも身の引き締まる思いになります。

この取り組みには、140を越える体験先が用意されており、公園愛護会や保育、介護・高齢者施設など、自分に合ったボランティアを選べるのも大きな特徴で、受け入れていただいている体験先の皆様のお心遣いやご協力に、心から感謝を申し上げたいと思います。

「はあと de ボランティア」の振り返りでは、ボランティア体験についてグループでまとめたいただきますが「先生と呼ばれて嬉しかった」、「体験先で感謝された」など、一人の人間として認められることが心身の成長にとって、とても大切なことだと感じています。

これからも多くの方がボランティアを体験し、心豊かに成長して行ってほしいと願っています。

都筑区青少年指導員連絡協議会 会長 **志田 政明**

地域の大人や中・高校生と共に活動を体験する中で、より早い段階からボランティア活動に関心を持ってほしい。また、異年齢の子ども同士学び合い、大人たちとのつながりの中で、自己肯定感を高めてほしい。そんな思いから始まった小学校5・6年生向けプレコースは、平成28年度にスタートし今年で3回目を迎えました。

スタッフの皆さんの入念な準備のもと、地域の方々の温かいまなざしに支えられ、小学生の参加者は中高生のお姉さんやお兄さんと一緒に、緊張しつつも楽しみながら活動に取り組んでいました。

「最初は誰とも話せなかったけど、気がついたら楽しく話していたので自分でもびっくりした。」「中高生、大人と話しができた。」と、アンケートで答えていた小学生たち。普段接することのない多様な人たちとの出会い、一生懸命関わろうとする姿に頼もしさを覚えました。そしてそんな彼らの純粋さが、参加している中高生や、地域の大人たちに与えるパワーも感じました。

毎年進化を遂げている「はあと de ボランティア」。

多世代が一つの方向を目指し、体験することによる相乗的な効果は計り知れません。これからもまた新たなものが、生み出されていくことを期待しています。

都筑区福祉保健課長 **山本 弘庫**

2. 実施報告

本事業は、STEP 1～3の順に参加して体験が修了します。STEP 1のオリエンテーションで心構えや活動の注意事項を知り、STEP 2で実際にボランティアを体験し、STEP 3の振り返りで、活動で学んだことを次のステップにつなげます。

5月 中旬までに 28日(月)	事前調整 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	1. 受入れ先の集約 ・受入れ先の開拓、確保、日程調整
6月 11日(月)		2. 広報 (P5 参照) 3. 募集 (P5 参照) ・10:00 受付開始
7月 6日(金) 11日(水) 12日(木)		・20:00 締切り (小学5・6年生プレコース) ・20:00 締切り (中高生コース)
20日(金)		4. 申し込みの集計、体験先決定 ・体験先の調整 ・オリエンテーション日と体験先の決定通知送付
23日(月)		【STEP 1】 オリエンテーション (P6～9 参照) ・つづきMYプラザと4地区センターで計6回実施 ・「ボランティア」についての話し合い (*ワールド・カフェ) *ワールド・カフェとは、人々がオープンな会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる「カフェ」のような空間でこそ創発されるという考えに基づいた話し合いの手法。 ・ボランティアの心構えや活動の注意事項 ・体験先の確認 (日時、場所、事前連絡の有無、服装、持ち物等)
25日(水)		【STEP 2】 ボランティア体験 (P10～13 参照) ・区内の施設や団体・ボランティアグループで活動
8月 24日(金) 25日(土)		【STEP 3】 振り返り・修了証授与 (P14～17 参照) ・ボランティアをして気づいたこと、感じたことの話し合い ・「この夏の一句」作成 ・修了証授与 ・ボランティア活動時間数証明書発行 (希望者のみ) ・体験先へのお礼の手紙・アンケート回収
9月 25日(火)		1. 受入れ先アンケート回収、お礼の手紙発送 2. 受入れ先振り返りの会 ・19:00～20:00 (つづきMYプラザにて) ・実績報告 ・活動の様子と課題の共有
10月 16日(火)		3. 主催者振り返りの会 ・13:30～15:00 (つづきMYプラザにて) ・次年度に向けた検討事項の確認

- 広報
- 募集要項配布
 - <中高生コース> 7,000枚
 - ・区内8公立中学校で全校配布
 - ・近隣の高校に送付
 - ・その他送付依頼があった学校に送付
 - ・区内の公共施設で配架
 - <小学校5・6年生プレコース> 5,000枚
 - ・区内22公立小学校5・6年生に全校配布
 - ・区内の公共施設で配架
 - 区報、会報、ミニコミ誌等に掲載
 - ・広報よこはま 都筑区版
 - ・タウンニュース 都筑区版 (都筑区社協だより しゅんらん)
 - ・かけはし都筑 インフォメーション
 - ・プラザニュース
 - Webによる情報発信
 - ・つづきMYプラザ ホームページ
 - ・つづきMYプラザ Facebook
 - ・区役所 ホームページ

- 申し込み受付期間
- <中高生コース> 6月11日(月)～7月11日(水) 20時
 - <小学校5・6年生プレコース> 6月11日(月)～7月6日(金) 20時

- オリエンテーション
- ①7/20(金) 18:30～20:30 つづきMYプラザ
 - ②7/21(土) 9:30～11:30 中川西地区センター
 - ③7/21(土) 15:30～17:30 北山田地区センター
 - ④7/22(日) 10:00～12:00 都筑地区センター
 - ⑤7/23(月) 9:30～11:30 仲町台地区センター
 - ⑥7/23(月) 18:30～20:30 つづきMYプラザ

参加者総数 315名 (うちプレコース61名)
個別対応者数 9名 (うちプレコース6名)

- ボランティア体験期間 7月25日(水)～8月24日(金)
- 参加者総数 324名 (うちプレコース67名) (学年別内訳)

小学校	人数	中学校	人数	高校	人数
5年	34	1年	33	1年	41
6年	33	2年	36	2年	40
		3年	47	3年	60
小計	67	小計	116	小計	141

- 振り返り・修了証授与 8月25日(土) 10:30～12:30
- 場所: 都筑区役所 6階 大会議室
- 参加者総数 195名 (うちプレコース46名)
個別対応者数 56名 (うちプレコース2名)
(9月20日現在)

■ 活動プログラム数

- <中高生コース> 142プログラム (うち32は希望者なし)
- <小学5・6年生プレコース> 24プログラム (うち1は希望者なし)

*プレコースの24プログラムは中高生コースに含まれる。

活動分野別内訳

体験先	人数
東京2020オリンピック・パラリンピック企画	19
STEP UP プログラム	10
夏だけじゃないボランティア	7 (6)
コラボレーション企画	4
つづきMYプラザ	37 (7)
青少年指導員事業	7 (2)
区民利用施設など	78 (19)
放課後キッズクラブ・はまっ子ふれあいスクール	35
地域活動など	131 (29)
ハマロードサポーターなど	43 (4)
企業	6
子育て支援	25
保育所	50
障がい児・者施設	9
地域ケアプラザ	9
高齢者施設	9
延べ人数	324 (67)

* ()内は小学5・6年生の内数で示す。

体験箇所数別内訳

体験箇所数別	人数
1ヶ所	222 (67)
2ヶ所	67
3ヶ所	28
4ヶ所	3
5ヶ所	3
8ヶ所	1
参加者総数	324 (67)

* プレコースは1人-か所

体験日数別内訳 参加者総数 230 (53)

体験日数	人数	体験日数	人数
1日	122 (64)	6日	4
2日	77 (1)	7日	2 (1)
3日	31	8日	2
4日	12	9日	1
5日	5 (1)	11日	1

2-3 (STEP 1)
オリエンテーション

参加者と大人と一緒に「ボランティア」について考えます。活動についての注意事項の確認も行い、前向きな気持ちでボランティア活動ができるように心構えをつくります。



♡こんなにたくさんの方がボランティアするんだ！びっくり！！



ちょっとふあん



♡経験者の声を聞いたら、やる気スイッチが入った！



♡思ってることを伝えられてやる気が出た。ハードルアップして頑張りたい！



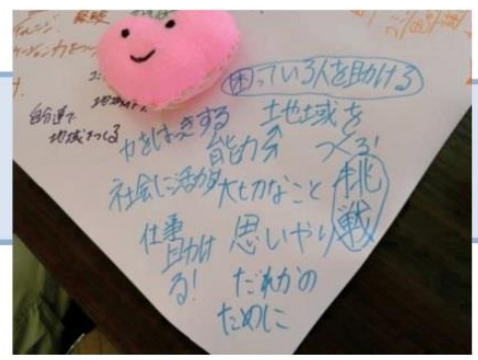
♡この「不安」がボランティアで「楽しい」に変わればいいな。



♡緊張してるのは私だけじゃなかった！

ちょっとふあんでもふあんがすこしかるくなった！

ちょっとふあんでもふあんがすこしかるくなった！



♡無理をしないでありのままの自分でがんばる！！

やっぱり楽しみになってきた。

やっぱり楽しみになってきた。



ボランティアは人のために、人助けをするためにあると、思った。一人がボランティアをえらんだとき、かけがえのない人があつた。かけがえのない人を見つけた。

- ・人のためにやる
- ・笑顔でやりたい
- ・あまり関わらない人と関わる

〇人のために何かをしよう
〇相手と助けあおう
〇笑顔が1番大切

様々な人がいると知った
見方も変わる参考になった
新鮮で楽しいと思った

- ・自分から積極的に行動する
- ・新しいことにチャレンジ
- ・自分を愛する

普段学校などで消極的な人でもボランティアに参加している人もいます。自分の好きなことをやりたいたいと思う人もいます。

ボランティアとは？
・お金をもらわずに自分のやること。
・興味をもってやること。
・困っている人を助けること。
・楽しくコミュニケーションをとること。

・好きなことをボランティアでやる
・地域の役に立つ
・自分から行く！

STEP 1	STEP 2	STEP 3									
オリエンテーション	ボランティア体験	振り返りと修了証授与									
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアは人の役にたいて、自分も学べる ・人への心からの夢のやり取り ・内さむさむさ 	<table border="1"> <tr><td>体験1</td><td>体験2</td><td>体験3</td></tr> <tr><td>体験4</td><td>体験5</td><td>体験6</td></tr> <tr><td>体験7</td><td>体験8</td><td>体験9</td></tr> </table>	体験1	体験2	体験3	体験4	体験5	体験6	体験7	体験8	体験9	
体験1	体験2	体験3									
体験4	体験5	体験6									
体験7	体験8	体験9									



♡自分が楽しむこと・きっかけを作る場所・色々な人とふれあう

♡笑顔でいる・人の役に立ちたい・自分を成長させる・人に感謝

♡人とのふれあいが持てるもの・自分と他人、両方のためになるもの
それぞれの夢につながるもの

♡色々な経験ができる場所・人助け・ためになる

♡人の役に立つ・達成感
みんなが笑顔になる

♡つながり・きずな
ありがとうと言える

♡不安が軽くなった！！
楽しみに変わった！！

♡人のために
夢のために
チームワーク



♡ 協力・友人と頑張る・
助け合う

♡コミュニケーションと
言葉使いをどう気をつけ
るか・人と関わる大変さ

♡人との交流のきっかけ・自分の
まわりの事を知る・人を助ける

♡目的をもって取り組むことが大切だと思った
沢山の人の意見を聞く事ができて良かった
今日の事(オリエンテーション)をボランティアに生かしたい

♡「人を笑顔にさせたい！」という心をもっている・新しい事に
チャレンジ!



それぞれの体験先で、さまざまな人たちとふれあいながら活動に取り組みました。



目に見えて自分の頑張りがわかるボランティアは「自分」にも「相手」にもいいことがあって、やっぱりいいなあと思いました。中学生になっても続けたいと思います。



今回のボランティアをして「きついな」と思ったことは一度もなかったです。草抜きをしている時に花壇に植えてあるお花の種類の名前や、なぜ植えたのかなどを教えて下さり、勉強になりました。「草抜き上手だね！合格！」とほめて下さって、すごくやる気が出て嬉しかったです。

命を扱うことの難しさを学びました。単に「かわいい」「欲しい」という理由だけで保護犬に手を差し伸べるのは、その子の生涯まで壊すことにもなると痛感しました。将来動物の飼育員になりたい私にはとても大切な機会でした。



去年はお客として流しソーメンに参加し、今年はボランティアとして楽しみを提供する側にたち嬉しく思いました。去年の中高生ボランティアの方々に憧れていましたが、受け入れて下さっている皆さんの裏のご活躍が今回よくわかりました。大がかりな作業を大勢の中の一員として行い、チームワークについて肌身で感じて学ぶことができました。お客様として来てくださった方々の楽しむ顔を見て、人の為に頑張ったことに対するやりがいを感じました。



ボランティアをする事で地域の多くの方々と触れあい、とても良い経験になりました。人の為に何かをやって役立つことは楽しかったです。参加してくれた小学生が嬉しそうな顔をして帰っていくのを見た時は、一生懸命手伝って良かったと、達成感を肌で感じる事ができました。



私が携われたのは小さなことではありますが、このような数多くの人に関わって、特に国際的なボランティアでは活動が成り立っているのだと体感することができました。



こんなに小さくても少し重いようで、命の重み、ありがたさを感じました。赤ちゃんの笑顔は私も笑顔にさせてくれました。



誰かの役に立つのは、少し大変だったけれどやりがいがあり、自分も楽しめました。知らない人とも交流でき、積極的に呼びかけるなど普段はできない体験ができました。

お年寄りのことが今まで以上によくわかりました。思った以上に嫌なことは嫌だとはっきり言われ、驚きました。人生の重みを感じました。僕の悩みはちっぽけなものに思えて心強かったです。

今までとは違い、幅広い年齢の方と活動できました。個人でもボランティアに行ける勇気がつきました。

図書コーナーの手伝いをして、本のポップ作りで忘れかけていた「楽しい」という気持ちを再び見つけ出すことができました。そして「楽しい」という気持ちを自分の可能性として、自分自身の世界をさらに広げていけそうです。

障害をもった方が諦めなければいけない事を無くすのが夢です。



自分が住む中川の町にこんなにも町の為、住民の為に思い全力で活動してくれる方々が多くいるなんて知りませんでした。今回のラジオ体操一回限りで終わるのではなく今後も大好きな自分の町の為に少しでも力になりたいと思います。



ボランティアは初めてだったので不安しかなく、でもいざやってみると、準備は楽しいし、頼まれるともっと楽しくなるし、やろう！と思うことができました。子ども達が笑顔で喜んでくれた事が何より幸せでした。

今までボランティアに参加したことがなかったので少し緊張しましたが、皆さんフレンドリーにして下さったので良かったです。人に感謝されることがこんなに楽しいことなんだと初めて気づくことができました。

ボランティアでみんなのために作業をしてみて、みんなのために思う考えはこの先の生活でも意識していきたいと思いました。

ボランティアは普段おかれている立場とは違う立場から、ものや人について考えることができると思いました。



グループに分かれて体験を振り返り、この夏の一句を作りました。



ありがとうございます！

参加証を授与します。お疲れ様でした！



一つのことをやり遂げた子どもたちの笑顔でいっぱいでした。

さらなる成長のために・・・
STEP UP プログラムに参加して
思ったことは？

STEP UP プログラムとは・・・
夏のボランティア体験を活かし、1年かけて来年度の「はあと de ボランティア」のプログラムのひとつを中高生が作り、実行するプログラムです。

STEP UP で経験したことは初めてのことばかりでとても貴重な体験になりました。

自分たちでボランティアの企画をする事の大変さが分かった。

楽しかったです。

もっと多くの人に参加してもらい、仲間を増やしたい！

色々な年代の方と関わることでコミュニケーションなどを学びました。

STEP UP のメンバーで仲の良い人が増えてよかったです。

普段やらない事をやらせてもらって楽しかったです。

2年目を終えた今では議事録もPCで書けるし、初対面の相手にも電話できるようになりました。

初めて会うメンバーとうまくコミュニケーションができて大変でした。



各グループ思い思いの作品を 披露しました (一部抜粋)



ボランティア
子どもたちの笑顔で
いやされる

はりきって
切手を切って
来て平和

人のため
汗ながしたら
みな笑顔

夏休み
人の喜び
分かった日

子どもたち
笑顔が一番
うれしいよ

ボランティア
あつさにまけず
やりきれた

ボランティア
夢中になって
笑顔咲く

助け合う
笑顔嬉しい
ボランティア

ボランティア
みんなの笑顔の
花が咲く

緊張が
人とながり
笑みになる

夏休み
違った自分を
再発見

大変だ
それでも乗り越え
成長へ

ボランティア
誰もができる
恩返し

ありがとう
言葉で広がる
笑顔の輪

ボランティア
地域のみんな
作ろうよ

成長の
一歩一歩は
助け合い

色々な
人と話して
広がる輪

来年も
みんなの笑顔
また見たい

ボランティア
積極的に
助け合い

普段とは
違う体験
いい体験

良かったこと

「人の役に立てたことがうれしかった」
という貴重な経験ができた

自分にもできることがあると再発見

最初は緊張していたが、最後は気楽に
話せるようになった

普段話すことのない方と話せてよかった

いつもと違う立場からものを見てよかった

夢中になって活動できた

知らない人と話すことで、人との触れ合い
を楽しめた

楽しかった

障害を持っている人の身になって考える
ことができた

協力して活動できた

助ける側の気持ちもよくわかった

反省

自分から行動できなかった

もっと積極的に活動すればよかった

もっと多くの人と話せばよかった

事前準備をしっかりとっておけばよかった

STEP1 オリエンテーション

- ・様々の年代と関わろう!
- ・コミュニケーションがとれよう!
- ・そのやりはさだまだが、地域
の人の役に立ちたいと思ってる!

STEP3 振り返りと修了証授与

- ・具体的に、車椅子のクハリボ
ンに何ができるかを学んだ。
- ・車椅子の方や目の不自由の方
の気持ちを知ることができた。
- ・様々の方とコミュニケーション
がとれた。

STEP1 オリエンテーション

- ・自分もみんなも笑顔
人さす輝ける
やったあとみんながうれ
しい!

STEP3 振り返りと修了証授与

- ・きれいになった時にみんなから
ありがとうと言われてうれ
しかった。
- ・人を笑顔にできて良かった
・目がきれいになってうれ
しかった。

STEP1 オリエンテーション

- ボランティア、何だろう...
- ・やらなきゃいけないことじゃないが
無責任なのはダメ。
- ・ささいなことでもボランティア
自分の意志でやること

STEP3 振り返りと修了証授与

- ・自分も楽しんでやる!
- ・自分の意志でやること
だから、責任をもつ!

STEP1 オリエンテーション

- ・たくさんのコミュニケーション
をして自分の世界を広める!
- ・人の役に立つこと!!

STEP3 振り返りと修了証授与

- ・人と関わり、コミュニ
ケーションをするのがたのしかった!
- ・感謝さしたり、頼れり
つた。うれしい、幸せ!

思ったこと

夢さがし

世界がつながっているなと感じた

身近で小さなこともボランティアになる
とわかった

今後の活動

来年も参加したい

大勢の人と関わる機会を増やして
人と話すことに慣れたい

周りを見る力を養いたい

子どもとの関わり方をもっと考えたり
知りたくなった

皆を笑顔にできるようなもの

今回の活動がつながるようなもの

積極的に苦手なものにチャレンジ



STEP1 オリエンテーション

- 助け合いを
大事にしよう
と思った。

STEP3 振り返りと修了証授与

- 積極的に、
自分から行動
する。

STEP1 オリエンテーション

- ・人が笑顔にほほえ
・役立つ

STEP3 振り返りと修了証授与

- ・自分へ成長につなげる

STEP1 オリエンテーション

- ・将来の夢に向けて
かまっていたい。

STEP3 振り返りと修了証授与

- ・普段見えない視点から
物事を考えてみて、視野が
広がった。

STEP1 オリエンテーション

- ・相手の気持ちを自分
たかめよう。

STEP3 振り返りと修了証授与

- ・自分も笑顔で働
くと周りも笑顔に
なるとわかった。

STEP1 オリエンテーション

- ・毎年ボランティアで、その人
バリエーションで参加する
理由が自分と同じ人バリエ
ーションで参加した。

STEP3 振り返りと修了証授与

- ・初めてのボランティアで緊張
してはいたけど、やることで
できてとても楽しかった。

STEP1 オリエンテーション

- ・人の役にたつたい、すめら
た。なごき、かけはるあふた。

STEP3 振り返りと修了証授与

- ・ボランティアは、大変だけれ
人の役に立てて、自分のため
にもなるということか
わかりました!

人の役に立つことって大事なことだと思った。
これからは、役に立ち、信用されるようになりたい。

学んだことは**信頼が必要だ**ということ。子どもからの信頼は遊んでいるだけでは得られないことや、得るまでに時間がかかるということ。

普段おかれている立場とは**ちがう立場**からものや人について**考える**ことができた。

赤ちゃんの**笑顔**でわたしも**笑顔**！

お母さんたちって本当にすごいな！

この**地域のために力を尽くしている**方々がたくさんいるということを知った。

赤ちゃん、だっこできた！

今回のボランティアで**都筑を応援する**応援団の一人になれたことをとても嬉しく思った。

車イスに乗る体験をして、**怖さを体験**した。
どうすれば障がいのあるかたが安全に過ごすことができるかを**考え、理解**してしっかり行動に移していこうと思った。

イベントに興味を持った小学生を**応援**したい。

「あたりまえ」だと思っていたことが、ボランティアをすることで、「あたりまえ」は**自分たちで作っていく**ということに気づいた。

グループホームのキーワードの1つである「できることに着目し、尊厳の回復を」この言葉通り、スタッフの方々のサポートしている姿を間近で見れてとても良い新しい発見に学ばさせていただきました。

将来やりたいことが増えた。

自分にも人を**楽しませることが**できる！

身近なところに**ボランティア**があった。

自分が2020年オリンピック・パラリンピックボランティアに参加する時に**笑顔で取り組む**ことがどれだけ大切かを知ることができた。

普段は一人にいるときは、あまり料理をしないので、**誰かの為に料理**すること、限られた時間の中で**考えながら調理**するのは、とても楽しかった。

ボランティアは、**学年に関係なく一緒に体験**できる。

人との関わりは**難しいけど楽しい**と思った。

初ボランティア！今までよりもボランティアに対して**楽しいイメージ**を持つことが出来た。



平成30年度
はあと de ボランティア
～中高生のための夏休みボランティア体験～

お礼の手紙

体験先

名前

まずは、今日を含めて3日間ありがとうございました。
私は今回初めてボランティアに参加したし、人見知りかあったので正直すごく不安でした。しかし、最初のオリエンテーションのおかげで、自分から話しをかける自信ができました。車いすに乗った時、目線が低くなり自転車が突然抜かされるのがすごく怖く、ちぎな段差につまづいたとき思わず足が出たが、本当に車いすを使っている人は足か思ったように動かないのでより一層怖かったです。実際に乗って初めて、体験しておかないと分からないことかたくさん知れたので良い経験だったなと思います。また、お店に入りインタビューをしてみると普段なら幅が狭いとか、いすの出入れが可動とかは全然気にしないが、車いすを使用されている方々は、気兼ねにお店などには入りにくいのではないかと思います。模範的に自分達も歩いて気づいたことをまとめると、どのように改善したら良いかなど、先をみずめて問題点をしっかりとさせることができました。このようなボランティアの機会のおかげでたくさんの方々のことを知り、体験して話を深めていくことが出来ました。改めて、今日はありがとうございました。

主催：つづき MY プラザ・都筑区社会福祉協議会・都筑区青少年指導員連絡協議会

調理等メンバーから教わりながら積極的に参加しており、中学3年生でも最後までメンバーの一人として動いてくれたので、楽しく大変助かりました。

緊張しながらもスタッフのお手伝いをしたいという気持ちが伝わってきました。

幼児の様子を見ながら相手に合わせた対応をしてくれていた。裏方仕事も率先して取り組んでくれて助かった。3年連続で来てくれて、年々関わりが上手になってきている

体験先へ行く前に電話連絡をするという流れをしっかりと伝えていただいたため、事前に電話で調整することが出来てスムーズに出来ました。ただ、1名からは連絡がなく事前の調整が出来ませんでした。

中川中央町内会 **大塚 邦明**さん

1日参加してくれた生徒も、毎日来てくれた児童も、みんな一生懸命やってくれたことが伝わってきました。

『はあと de ボランティア』を通して誰かの役に立ちたい、経験を積みたいという強い思いを持っている素晴らしい子ども達だと思います。「お礼の手紙」も拝読しましたが、こちらの方がお礼を言いたくなりました。みんな本当にありがとう！

当方の担当者が今年初めてだったため、役割や手順を教えられませんでした。みんな率先して対応してくれました。よかったら来年もまた来てください。

ボランティア終了後、参加者から「人と関わる時の自信になった」との声があった。様々な人とかかわる良い経験になったようだ。

スイカ割り大会のスタッフとして来ていただくことになっていたボランティアの3名の方は、当日結局1名だけで、こちらスタッフの一人として役割分担を考えていたので、とても困りました。

初めはびっくりぼうだった男子が、子どもたちの遊んでいたパーブレードに自然と入って一緒に遊んだくらいから場になじんで片付けなども率先してやっていて、最後に常連の母たちともうちとけておしゃべりをしていた。いい顔してた。

高校生は積極的に児童に声掛けや働きかけが出来ている。中学生はこちらから細かく指示をしないと動けないように感じた。→仕方がないと思います。皆さん素直に子どもたちのためにという気持ちは伝わってきました。

認知症予防カフェ どんどんセンター南 **鈴木 忠弘**さん

今年は中学1年生の女の子が来てくれました。何も経験が無くても、気持ちと元気を持って来てくれるだけで、お年寄りには笑顔になります。当日は、新しい街に引っ越してきたお年寄りも、高齢者と関わる事の少ない中高生、そして看護学生にも参加してもらいました。これからも「はあと de ボランティア」をとおして、認知症予防カフェを基軸に多世代交流の機会としていきたいと思っています。

スタッフも来館者も、普段とは違うボランティアさんがいる状況で、よい緊張感が生まれ、館内が活気づいた。

中高生とのかかわりを高齢の利用者の方々はとても楽しみにされています。

子どもたちには、年の近いお兄さんお姉さんの存在がとてうれしいらしく遊んでもらうため順番待ちしているほどでした。ボランティアの子どもたちは、言われたことをするだけでなく、自発的に何をすればよいかを考える良い機会になったのではと思います。

小学生のボランティアさんがいると、来館している小学生も親近感を感じ、自分もお手伝いがしたいという子が何人もいた。また、保護者の方と上手に話ができるボランティアの子がいて、若いママさんたちが幼いわが子と比較して、感心していた。楽しい地域交流が自然にできていた。

普段の生活の中で、職員だけが話し相手になってしまう利用者の方が多いので、ボランティアさんが来てくれると、利用者がとても楽しそうにしてくれるので、とても良かったです。

学生さんとのつながりが持てるよい機会になりました。幼児もお母さんたちも学生さん達と接することをとても楽しく思ってくれました。

来た子どもたちのそれぞれの体験が帰るときの表情にあらわれていた。いい出会いができました。

都筑区民文化祭実行委員会 **内藤 雅子**さん

今回、初めて子どもたちのボランティアを受け入れ、イベント開催のお手伝いをお願いしました。子どもたちに達成感とステージで脚光を浴びる楽しみを味わってもらいたいと思い、MC(司会進行)を担当してもらいました。本番直前に渡した原稿を一生懸命に練習し、マイクを持って堂々と話す子どもたちは、回を重ねる度に上手になり、本当によく頑張ってくれました。出会えたことに感謝です。



参加者や受け先の皆さんの
いきいきとした笑顔 はにかんだ笑顔

「地域の中で育つ子どもたち」

横浜市教育委員会 北部学校教育事務所長 萩原 淳

今回、私は初めて『はあと de ボランティア』の活動を拝見させていただきました。まず活動内容が多岐に及んでいることに驚き、そして何より、活動中から徐々に笑顔が見え始めた子どもたちが、活動後には自信と満足感のあふれた輝いた表情に変化していくことに感銘を受けました。この表情の変化は、内面の変化であり成長であると思います。

学校生活では得られない貴重な体験を通して、子どもたちが自信を持ち、人とつながり人の役に立つこと、地域に貢献することに喜びを得て、「地域の中で大きく育つ」ことを実感しました。

「地域の子供」「地域の担い手」「地域の宝」である子どもたちに、今回このような機会を提供してくださった関係者の皆様に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

打ち解けてほっとした笑顔
達成感の笑顔

3. おわりに

平成 30 年度で 11 回目を迎えた「はあと de ボランティア」。今年も多くの中高生たちが地域に飛び出し、様々なボランティア体験や人との交流を通して社会参画への一歩を踏み出したことと思います。私も、ボランティア体験の前に実施されたオリエンテーションと体験後の振り返り・修了証授与に参加し、青少年が大きく成長する瞬間を間近で見守ることができました。

また、この「はあと de ボランティア」のもう一つの意義として感じたことは、大人が、そして地域が青少年とつながりを持つことで活力を得ていることです。活動をきっかけに地域の大人同士のネットワークができたり、地区版「はあと de ボランティア」の構想が検討されていると伺いました。青少年が頑張る様子を見て大人が元気や勇気をもらい、それが地域の活性化につながっているのだと思います。これからも様々な場面で、この事業が青少年と地域の結節点としての役割を果たしていくのではないのでしょうか。

最後になりますが、主催の「つづき MY プラザ」、「都筑区社会福祉協議会」、「都筑区青少年指導員連絡協議会」、さらには御協力いただいている地域・団体の皆様方が、毎年このように素晴らしい事業を企画・運営してくださっていることに深い敬意を表すとともに、感謝を申し上げたいと思います。どうもありがとうございます。

横浜市子ども青少年局青少年部長 **宮谷 敦子**

発行	つづき MY プラザ（都筑多文化・青少年交流プラザ） 都筑区社会福祉協議会 都筑区青少年指導員連絡協議会
編集	つづき MY プラザ（都筑多文化・青少年交流プラザ） 〒224-0003 横浜市都筑区中川中央 1-25-1 ノースポート・モール 5 階 TEL： 045-914-7171 FAX： 045-914-7172 e-mail： my-plaza@tsuzuki-koryu.org URL： https://tsuzuki-myplaza.net/newhome/ Facebook： http://www.facebook.com/tzkmyplaza
発行日	平成 31 年 2 月



それぞれの体験を
通して得た気づき
を次に活かそう！